

～横浜市 米州事務所～

米国新政権誕生とAIと気候変動対策の動向

2025年1月7日から1月10日まで米国ネバダ州ラスベガスで開催された世界最大級のテクノロジー見本市※CES 2025には、4,500以上の出展者と141,000人を超える参加者が集まり、人工知能(AI)、モビリティ、デジタルヘルスなど幅広い分野で起こる世界のイノベーションが披露された。米国最大級テクノロジー見本市CES等から米国新政権誕生とAIと気候変動対策の動向を探る。

※CES: (かつては「Consumer Electronics Show」という名称で知られたが、2016年からは正式名称が「CES」となった)

AI分野:実装化・物理世界への応用が加速

特にAIの実装がさまざまな領域で進んでいる点が注目され、基調講演でも多く取り上げられた。NVIDIAの創業者兼CEOである、ジェンソン・フアン(Jensen Huang)氏が登壇し、生成AIモデルから、エージェント型AI、更に物理AI(Physical AI)への進化について言及したが、これはAIが現実の物理世界とリアルタイムで直接インタラクションをし、それに基づいて判断を行うことを意味する。ロボットや自動車への応用が期待され、今回のCESではトヨタ自動車の次世代高性能車にはNVIDIAが開発した車載AIコンピューター『DRIVE AGX Orin』が採用されることも発表された。今回JETROのジャパンパビリオンのスタートアップ31社のうち9社がAI関連であったが、その他のカテゴリーで出展した多くの企業もAIは何らかの形で活用するなど、既にAI活用が必然的になってきている。横浜市と教材開発を試行中のモノグサ社は、AI搭載学習アプリで初出展したが、CESイノベーションアワードを受賞するなど、日本企業はこの分野での存在感もしっかり発揮していた。

1月末から中国のDeepSeekが話題となり、トランプ新政権は米国企業に対し、AI分野での競争力強化を呼びかけるなど、ますます今後の動向は注目される。



CESイノベーションアワード受賞プロダクトの展示エリア

気候変動・サステナビリティ分野:都市別・分野別での動向を注視

トランプ政権は就任初日にパリ協定離脱に係る大統領令に署名し、今後気候変動・サステナビリティの動向が注視されるが、CESでこれらの取組が消えたわけではない。例えば、ENEOS社は独自技術Direct MCH®を用いて豪州で水素キャリアMCHを製造、2023年に横浜市内で取り出した水素を燃料電池自動車に充填したプロジェクト等を紹介したり、Hondaは2026年からグローバル市場への投入を予定するEVのプロトタイプ2車種を世界初公開するなど、多くの企業がサステナビリティを堅持している。

新政権発足前週、当事務所はワシントンDCで世界各都市の実務者が集まるシンポジウムに参加した。そこでは、都市レベルでの気候変動対策の加速や、インフレ抑制法(IRA)関連プロジェクトの多くが共和党支持の強い州で進行中であり、政策が単純に逆行しない可能性が示唆された。また、クリーン技術の最前線を紹介する国際会議Cleantech Forum North Americaに1月末に参加し、エネルギー分野が堅調な一方、EV・水素分野には停滞の懸念があるなど、その動向が一様でないことが示された。さらに、IRAの見直しが進む中、「アメリカ第一」「国内生産」「雇用創出」の視点でロビー活動を強化すべきとの意見もあった。

今後、都市レベルの取組や業界単位のロビー活動を含め、米国の気候変動・サステナビリティ政策の動向を注視する必要がある。新政権誕生で不透明感が増すが、当事務所は米国の現地情報を活用し、横浜企業のビジネス創出を引き続き支援していく。



CES展示場JETROジャパンパビリオンでの
ピッチセッション

TECH HUB YOKOHAMA イベント情報

「Deep Tech Forum Yokohama 2025」を2025年3月7日に横浜で開催。

米州事務所も
現地参加予定

～全米の先進製造業を牽引するワイスミラー氏による基調講演～

ハードテック・スタートアップ特化型投資ファンドを運営する株式会社Monozukuri Ventures（本社：京都市及び米国ニューヨーク市、CEO：牧野成将、以下「MZV」）は、世界最先端のディープテック・スタートアップとその支援コミュニティ（エコシステム）が集まり、ディープテック・スタートアップ・エコシステムのあるべき姿を探る「Deep Tech Forum（ディープテックフォーラム）」を2025年3月7日に横浜で開催いたします。

**DEEP TECH FORUM 2025
YOKOHAMA**

2025.3.7 (金)
13:00 - 18:30 (12:30受付開始)
TECH HUB YOKOHAMA
(リアル開催のみ)



基調講演 — 13:10 - 13:40
ステイシー・ワイスミラー氏
Stacey Weismiller
米国先進製造センター
US Center for Advanced Manufacturing

申込方法：<https://dtfyokohama2025.peatix.com/>

主催：株式会社Monozukuri Ventures 後援：横浜市(予定)

【執筆者】横浜市米州事務所 副所長 西川勝裕 横浜市米州事務所

【横浜市米州事務所問合せ先】<https://businessyokohama.com/jp/global/newyork/>

【問合先】公益財団法人 横浜企業経営支援財団(IDEC横浜) イノベーション支援課国際ビジネス支援担当
TEL: 045-225-3730 E-mail: global@idec.or.jp

相談申込みはこちら

<https://www.idec.or.jp/business/overseas/consultation.html>

または、右の二次元コードからどうぞ



本レポートの内容は筆者個人の見解であり、IDEC横浜を代表するものではありません。また可能な限り注意を払って調査・考察しておりますが、万一誤りや不十分な点がございましたらご容赦ください。